

生きものの違いが奏でる多彩な魅力をあなたに…
生物多様性保全推進事業

この音、しってる？

カッカッカッ
 コッコッコ
 ウウウウ

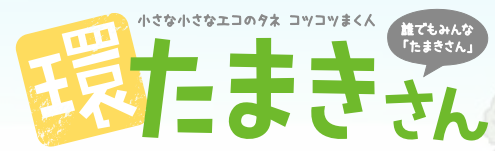
ふいふい
 スーッ
 ッ
 チョン

ギョシギョシ
 ギョシギョシ

仙台市

サラサラサラサラ

生物多様性保全事業の最新情報や、イベント情報は、以下の仙台市環境Webサイト「たまきさん」内の特設ページや市政だより、青葉山にある「せんだい環境学習館たまきさんサロン」などで発信しています。
 気になったらまずは、ホームページをチェック！



<http://tamaki3.jp>

せんだい環境学習館
たまきさんサロン

平日：10:00～20:30
 土日祝：10:00～17:00
 休館日：月曜（月曜が休日の場合はその翌日）、
 祝日の翌日、年末年始



地下鉄東西線「青葉山駅」南1出口から徒歩1分
 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
 電話番号:022-214-1233

お問合せ先 仙台市 環境局 環境共生課
 〒980-8671 仙台市青葉区二日町6番12号
 二日町第二坂庁舎 (MSビル二日町) 5階
 電話:022-214-0013
 Eメール:kan007130@city.sendai.jp

リサイクル適性(A)
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
 RICE INK
 この印刷物は、輸送マイレージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷し、印刷用の紙へリサイクルできます。

日本人が千年以上前から愛したカエル **カジカガエル** (河鹿蛙)



ふいふいふいふいふい……
 初夏、川の近くで、こんな美しい音を聞いたことはありませんか？

日本にしか生息しない、カジカガエルの鳴き声です。日本人はこの美しい声に古来から魅せられ、万葉集にも、カジカガエルを詠んだ歌

が多くあります。
 広瀬川でも生息が確認されており、大都市の市街地でカジカガエルを見ることができるのは全国的にも珍しく、仙台の魅力の一つになっています。

知られざる「仙台市の鳥」 **カッコウ** (郭公)



仙台市の木は「ケヤキ」、花は「ハギ」、では鳥は？
 昭和四十六年の市民投票で選ばれた鳥、それは「カッコウ」です。

五月頃、仙台にやってくる夏鳥で、その名のおり「カッコウ」と鳴き、のんびりした気分してくれます。

そんなカッコウ、現在、世界的に数が減っていると言われ、仙台でも鳴き声を聞く機会が減ってきました。

将軍家に献上された宮城野の **スズムシ** (鈴虫)



宮城野原のスズムシの音色の美しさは古くから知られ、江戸時代には伊達藩から将軍家に献上された歴史もあります。

現在、残念ながら仙台で野生のスズムシの生息はほとんど確認されていませんが、「すずむしの里づくり実行委員

会」の皆さんの飼育・普及活動などにより、季節になると、スズムシが美しい音色を奏で、「仙台市の虫」として多くの市民に愛されています。

生物多様性保全推進事業ってなに？

自然の魅力あふれる杜の都

「杜の都」の愛称で知られる仙台には、その名が示すとおり、人々が守り育んできた多彩な自然が現代に引き継がれ、豊かな自然の中に様々な生きものが生息しています。

人と生きもののつながりが薄れてる？

日々の暮らしの中で、心が和らぐ瞬間って、どんな時ですか？美味しいご飯や家族との会話ももちろんですが、小鳥のさえずり、木々の紅葉など、目や耳で感じる季節の移ろいもまた、安らぎを与えてくれます。

しかし、今、自然との日常的なふれあいの機会が少なくなり、人々の身近な生きものへの関心も薄れがちです。

生物多様性保全推進事業の取り組み

生きものや豊かな自然を多くの方に感じてほしい、そんな思いから、次の三つの「生物多様性保全推進事業」を実施します。

- 一、初夏の音
カジカガエルが誘う里地里山の魅力発見
- 二、夏の音
カッコウを呼び戻せ！ヨシ原活用大作戦
- 三、秋の音
将軍も愛でた伊達の虫の声

初夏の音 カジカガエルが誘う 里地里山の魅力発見

カジカガエルの美しい鳴き声を多くの人に知ってもらうため、生息地マップを作成し、音声や動画と一緒に、ホームページで公開します。（たまきさんサロンでも鳴き声を視聴できます。）

またカジカガエルの生息環境である清流や、周辺の里地里山でのエコツアーなどの企画も進行中です。

《カジカガエル情報募集中！》

見つけたら、場所・日時を、環境共生課まで！

電話 (022) 214-0013

Eメール kan007130@city.sendai.jp

夏の音

カッコウを呼び戻せ！ ヨシ原活用大作戦

カッコウをはじめ、多くの生きものがすむヨシ原の環境を維持していくための取り組みを始めます。

舞台は、仙台市東部地域にある農業園芸センターのヨシ原です。ヨシ原をめぐる、生きもの達の物語を知るための講座・観察会や、ヨシ原の環境を維持するためのヨシ刈り作業、刈ったヨシを使ったものづくりを行います。

一年を通じて、生物多様性の素晴らしさをじっくり学んでみませんか？



秋の音

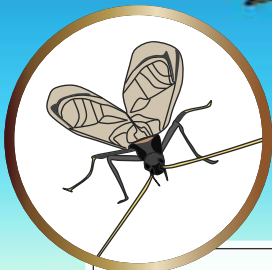
将軍も愛でた伊達の虫の声

少し暑さも和らぐ夏の終わりから秋にかけて、親子を対象にした、虫の声を楽しむ会を市内各地の市民センターなどで開催します。

庭や公園などの身近な自然にも、耳を澄ませてみると、驚くほど沢山の虫たちが鳴いています。

虫の声について好奇心をかきたてられるお話を講師の先生から聞いた後、懐中電灯を片手に、みんなで夜の公園に出かけ、昔の人たちが愛でた虫の声を楽しめます。

また、市内各地の鳴く虫情報は、ホームページで随時、発信していきます。



事業に関連したイベント開催案内など、
詳しい情報は、仙台市環境 Web サイト

何でもみんなが「たまきさん」
環たまきさん

http://tamaki3.jp

随時
配信しています！